

令和7年度コミュニティソーシャルワーク実践研究会 テーマ2

全方位型アセスメントを用いて援助困難ケースの解決方法を探る

開催要項

1 目的(共通)

少子高齢化や世帯の単身化による家族機能の低下、地域における孤独・孤立、経済的困窮や頻発する災害に関わる生活課題が深刻化・複雑化し、顕在化するケースが増えてきています。こうした課題に対応するうえで、包括的・重層的な支援体制づくりや多職種・多機関の連携、コミュニティソーシャルワークの実践がますます求められています。

本研究会では、暮らしにまつわる福祉課題の解決に取り組むソーシャルワーカーを対象に、①「居場所のチカラ」で「地域づくり」を進める協働のありかたを探り、②全方位型アセスメント(※)手法を学ぶ事例検討会を行います。

2 主催 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会

3 共催 福井県内社会福祉法人連携事業推進協議会 (予定)

4 日時 令和7年8月～12月 (月1回程度の定期開催)

5 会場 1回目…福井県社会福祉センター 4階 第1・2研修室
2～5回目は、オンライン

6 対象 市町社協・行政、社会福祉施設・事業所、地域包括支援センター、民生委員児童委員、重層的支援体制整備事業、生活困窮者自立支援事業の職員、その他対人援助に携わる者

50名程度

7 内容 集合型講義1回、オンライン事例検討会4回

日時	時間	開催方法	内容
8月19日(火)	10:00～15:30	集合	講義「全方位型アセスメントとは」 「模擬事例から援助困難を解きほぐす」 「全方位型アセスメントを用いた支援の実際」
9月18日(木)	13:30～16:00	Web	事例検討会
10月24日(金)	13:30～16:00	Web	事例検討会
11月20日(木)	13:30～16:00	Web	事例検討会
12月18日(木)	13:30～16:00	Web	事例検討会

検討事例は、受講者から募集いたします。

8 申込方法 別紙の「参加申込書」にて令和7年8月8日(金)までに、事務局あてお申し込みください。

9 参加費 無料

10 講師 山梨県立大学人間福祉学部福祉コミュニティ学科 教授 伊藤 健次 氏

<講師略歴>

【経歴】 日本社会事業大学卒業後、介護福祉士・社会福祉士として特別養護老人ホーム勤務し、日本社会事業大学専門職大学院を経て、山梨県立大学勤務し 2024 年から同大学教授。

日本福祉大学大学院社会福祉学研究科修了(社会福祉学修士)。

【専門】 事例を用いたグループスーパービジョン、地域ケア会議における個別事例検討

【社会活動】 厚生労働省「科学的裏付けに基づく介護に係る検討会」構成員

文部科学省「専修学校における先端技術利活用実証研究:VRやARなどの先端技術を活用した現場実践能力の高い専門的対人援助職員の効果的な養成プログラム開発に関する実証研究事業」運営企画委員

ほか、介護福祉士国家試験実技試験委員、山梨県内自治体の地域包括ケアアドバイザー等

11 個人情報 申込に記載された個人情報については、本会プライバシーポリシー、個人情報の取扱い保護規程に基づき適正に取り扱います。

12 その他 全日程の受講が望ましいですが、希望する回のみ受講も受け付けます。

13 申込み・問合せ先

福井県社会福祉協議会 地域福祉課 (紺井)

〒910-8516 福井市光陽 2-3-22

TEL : (0776) 24-2433 FAX : (0776) 24-0041 E-mail : chiiki@f-shakyo.or.jp

令和7年度 コミュニティソーシャルワーク実践研究会

テーマ2 全方位型アセスメントを用いて援助困難ケースの解決方法を探る

参加申込書

申込団体名			
連絡担当者		連絡先	

E-mail (※)		(フリガナ)			
NO.	参加者名	所属	役職等	検討事例提供欄	備考
例	研修 受子	〇〇〇課	主任	○	オンライン事例検討のみ参加希望
1					
2					
3					

※オンライン事例検討会の案内送信のため、メールアドレスも必ずご記入ください。

※全方位型アセスメントを用いてご自身が担当するケースを検討してみたいと思う方は、ぜひ検討事例提供欄に○を付けてください。後日事務職よりご連絡させていただきます。

E-mail : chiiki@f-shakyo.or.jp FAX : 0776-24-0041